

第21回市政e-モニターアンケート（図書館の利用について）集計結果

【テーマ】 図書館の利用について

【目的】 平成26年4月に、市民アンケートやパブリックコメントの結果を生かし、第2次鎌倉市図書館サービス計画を策定しました。生涯学習の拠点として、鎌倉ならではの図書館を市民とともに創ることを目標に、サービスの充実を図ります。

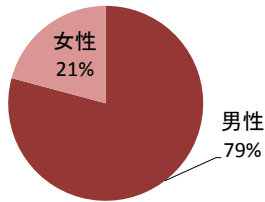
より利用しやすく、生活に役立つ図書館サービスについてご意見を伺います。

アンケート送信日 平成26年8月18日（月）
 アンケート実施期間 平成26年8月18日（月）～ 平成26年9月1日（月）
 送信者数 292名（着信者数 285名）
 回答者数 120名
 回答率（対着信者数） 42.1%

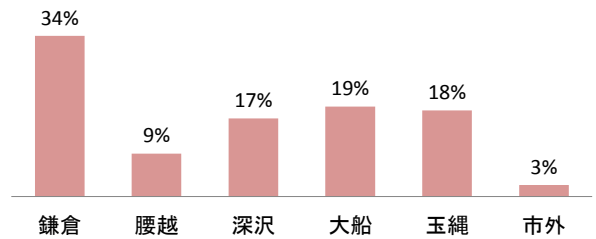


【今回の回答者の基本属性】

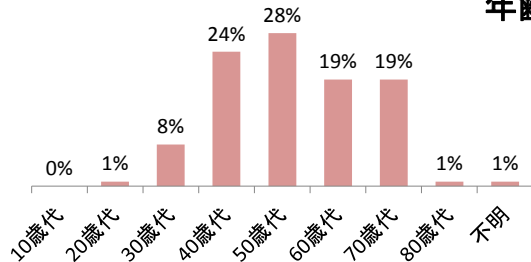
性別



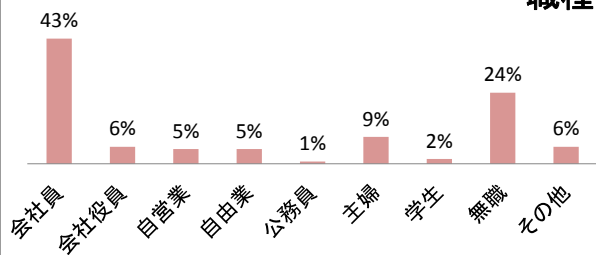
居住地域



年齢

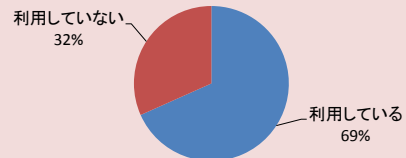


職種



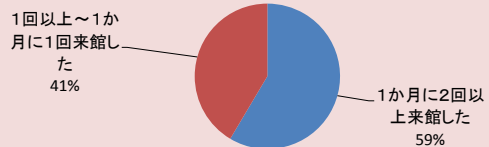
●質問1● この1年間に図書館を利用したことがありますか。

	(名)
1. 利用している	82
2. 利用していない	38



●質問2● 質問1で「利用している」と答えた方に伺います。この1年間の図書館の利用についてお聞きます。

	(名)
1. 1か月に2回以上来館した	48
2. 1回以上～1か月に1回来館した	34
3. 来館はしていないが、図書館のホームページを利用した	0

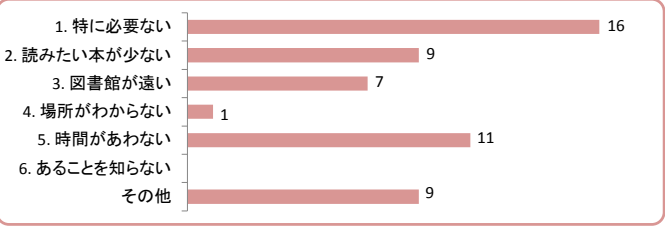


《図書館から》

生活の一部として定期的に図書館を利用されている方が、多いことが分かりました。日常生活に役立つ情報を発信する役割が図書館には求められています。

●質問3● 質問1で「利用していない」と答えた方に伺います。図書館を利用しない理由は何ですか。（複数回答可）

	(名)
1. 特に必要ない	16
2. 読みたい本が少ない	9
3. 図書館が遠い	7
4. 場所がわからない	1
5. 時間があわない	11
6. あることを知らない	0
その他	9



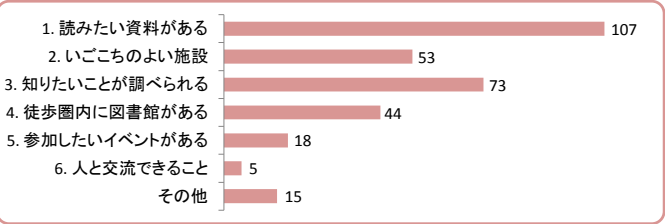
・ 古く汚れた本の臭いや触感が嫌い。
・ 古くて狭くて駐車場がなく、行く気がしない。
・ 駐車、駐輪スペースが少ない。
・ 新刊書、専門書が少ない。
・ 話題となった図書は予約の長い列ができており、借受は困難。
・ 以前利用したら予約待ちが長かった。
・ 行ってみたら受験生で満席だった・・・という点を危惧して伺っておりません。
・ 老眼が進行し、活字を読むのが苦痛。
・ 利用する余暇や時間がない。
・ 3年前に脳梗塞を患ってから、歩いては行けなくなった。それ迄は、週に1度は行っていたが。



《図書館から》
大活字本や朗読CD(小説、講演等)も図書館では所蔵していますので、ご活用ください。新刊書の購入希望も承っています。

●質問4● あなたが図書館に求めるものはなんですか。（複数回答可）

	(名)
1. 読みたい資料がある	107
2. いこちのよい施設	53
3. 知りたいことが調べられる	73
4. 徒歩圏内に図書館がある	44
5. 参加したいイベントがある	18
6. 人と交流できること	5
その他	15



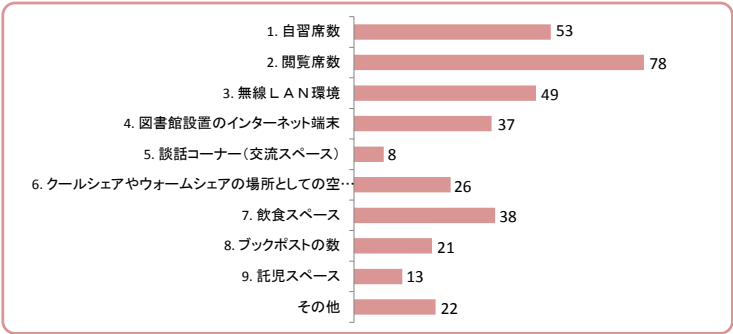
・ 個人購入出来ない高価書籍を講読できる。
・ 読みたい本を取り寄せてくれる。
・ 読みたい本が借りられる。
・ 各種論文の検索・入手できる。
・ 新刊書により世の中の動向が分かる。
・ 刺激的な展示企画。
・ 魅力的な展示企画。
・ 資料を使って簡単な書き物（勉強を含む）ができること。
・ 資料作成のため。
・ 資料作成等、集中できて仕事がかどり易い環境。
・ デスクでの読書、自前のパソコンを使っての作業ができる。
・ 時間を限ってインターネットでの調査ができる。
・ 常に座れる。
・ 知の拠点としての雰囲気がある。
・ キレイで広くて駐車場があり、ゆったり何時間もいたくなる場所。
・ 夜の開館。
・ 子供や経済的に苦しい人には有効だと思う。



《図書館から》
やはり資料あつての図書館、量と質と共に満足できる資料の充実が求められています。
より適切な資料との出会いをお手伝いしますので、スタッフに気軽にお声かけください。

●質問5● 図書館設備で充実していたらよいと思うものは何ですか。（複数回答可）

	(名)
1. 自習席数	53
2. 閲覧席数	78
3. 無線LAN環境	49
4. 図書館設置のインターネット端末	37
5. 談話コーナー（交流スペース）	8
6. クールシェアやウォームシェアの場所としての空調	26
7. 飲食スペース	38
8. ブックポストの数	21
9. 託児スペース	13
その他	22



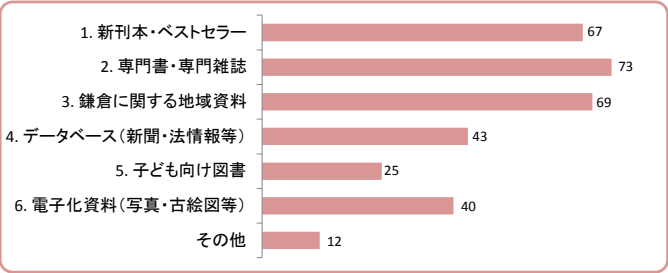
・	小さな講演会スペース。「7.飲食スペース」は官民連携で。
・	コーヒーショップ。
・	図書の充実。
・	蔵書の量。
・	設備より本を充実してほしい。とくに最新発行の本が少なすぎる。
・	古い本が多過ぎる。中央館に所蔵してある本は年寄り向け中心？
・	ネットでの他市の本の取り寄せ。
・	新聞、週刊・月間雑誌の講読にも利用している。
・	文献検索用ブース（既にあるのでしょうか？）。
・	貸出システムの簡易化。
・	ゆっくり資料が閲覧できる落ち着いたスペース。
・	AV資料の視聴席。
・	多目的会議スペース。
・	パソコンを使うための電源、パソコンを使える部屋。
・	パソコンを使える座席数、自動販売機、雑誌。
・	CD、DVDの設置条件が分からない。現状の展示内容は良くない。
・	映像コンテンツの充実。
・	駐車、駐輪スペース。
・	駐車場をたくさん用意して、雑誌もたくさんあって、喫茶のようなお店も隣接。
・	御成のような素敵で鎌倉らしい周辺環境。
・	トイレのエアータオルが使い捨てのお手拭き。
・	腰越図書館の利用者だが、年々事務の方の対応レベルが良くなっている。
・	ここに書かれているものは特に充実を望まない。



《図書館から》
来年3月に新システムを導入します。新規サービスとして、市内の図書館で所蔵していない資料の予約リクエストもインターネットでできるよう
にすること、自動貸出機の設置等を検討しています。
また、新聞記事・法律情報・官報データベースが各館で利用できます。中央図書館以外はインターネット利用端末と兼用です。中央図書館で
は国立国会図書館所蔵デジタル化資料送信サービスも始まりました。

●質問6● どんな資料が充実していればいいと思いますか。（複数回答可）

	(名)
1. 新刊本・ベストセラー	67
2. 専門書・専門雑誌	73
3. 鎌倉に関する地域資料	69
4. データベース（新聞・法情報等）	43
5. 子ども向け図書	25
6. 電子化資料（写真・古絵図等）	40
その他	12



・ 一般の小説・文庫本（ベストセラーである必要はない）。
・ 個人では買えない高額図書。
・ 全集。現在、大佛次郎を借りています。
・ 英語教育関係の書籍やDVD。
・ 洋書のベストセラー。
・ 海外小説（翻訳版）。
・ 月刊の雑誌類。
・ 理化学系雑誌。
・ 漫画。
・ 実用書、ビジネス書、ムック本。
・ 鎌倉のみならず神奈川県、横浜市の地域資料。
・ 「まちづくり」等、街の活性化を誘発する資料コーナー。
・ 鎌倉固有の出版物、写真、個人調査。
・ 落語や歌舞伎などのCD、DVD。
・ 電子書籍。
・ 売っていないもの。
・ 国会図書館の書類を検索・閲覧できたら嬉しい。
・ 物理的に図書館に行かなくてもバーチャルで閲覧できると非常に便利だ。
・ 公教育（小・中学校）現場で使用している教科書を揃えて欲しい。

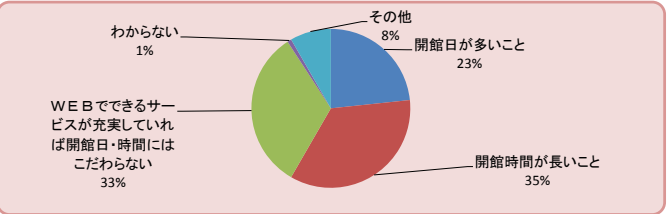


《図書館から》

新刊書やベストセラーが求められている一方、個人では購入しづらい資料、鎌倉の地域性の高い資料を揃えて欲しいという要望も多くあることが分かります。中央図書館では、国立国会図書館のデジタル化資料の一部を閲覧・複写できます。小・中学校の教科書は各館で閲覧できます。

●質問7● 開館日、開館時間について重視することはなんですか。（現在は毎日9時～17時開館。木、金曜日は9時～19時開館。）

	(名)
1. 開館日が多いこと	28
2. 開館時間が長いこと	42
3. WEBでできるサービスが充実していれば開館日・時間にはこだわらない	39
4. わからない	1
その他	10



・ 現行の開館時間を維持して欲しい。
・ 現在の条件で充分である
・ 現行体制が良い。
・ インターネットで図書の検索や予約ができるので現在の開館時間で構わない。
・ 開館日、開館時間は職員数や待遇などに関連してくると思いますので一概に判断できません。現在の職員数のままでは、現在の開館時間で十分と考えます。
・ 希望は21:00まで開館。
・ 仕事帰りに立ち寄れる22時まで。
・ サービス提供時間が短すぎる。極端なことを言えば駅構内に受け渡し。
・ 他市で借りた図書もポストから返却可能にして欲しい。
・ この欄が複数選択が可能となっていないのは何故ですか？

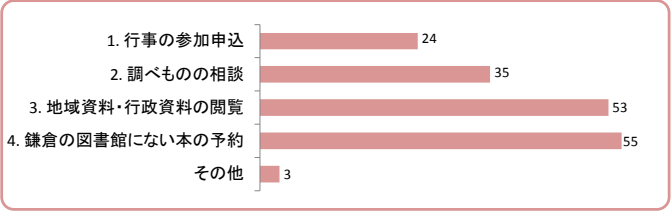


《図書館から》

現行の開館時間でよいと考えている方も、かなりいらっしゃる事が分かりました。複数選択としなかったのは、労働力コストや維持費が同じ場合、最も優先すべき項目は何かを伺いたかったためです。

●質問8● 図書館のホームページでできたらよいと思うことは何ですか。（複数回答可）

	(名)
1. 行事の参加申込	24
2. 調べものの相談	35
3. 地域資料・行政資料の閲覧	53
4. 鎌倉の図書館にない本の予約	55
その他	3



・ 国会図書館の書類を検索・閲覧できたら嬉しい。
・ 県立図書館の雑誌の予約。
・ 図書購入の申し込み。
・ 図書の購入依頼、希望調査。
・ DVD所蔵検索のしやすくしてほしい。
・ 電子化資料の閲覧。
・ 本の予約、電子書籍のレンタル。
・ 貸し出し履歴(過去に自分がどの本(資料)を借りたか)。



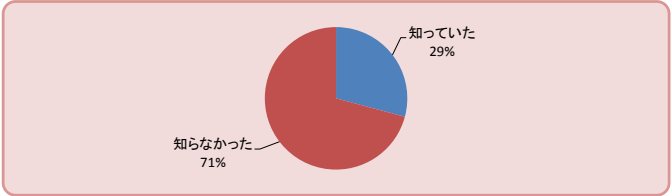
《図書館から》

現在の図書館ホームページサービスを活用された上で、市内にない資料のリクエスト(購入希望、借用申込)、電子化資料の閲覧・貸出等、次の段階のサービスが求められています。

●質問9● 市外図書館との協力事業についておたずねします

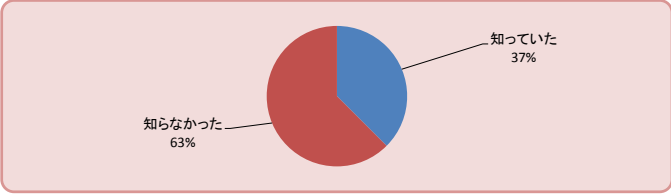
●質問9-1● 近隣（藤沢市・逗子市・横須賀市・葉山町・三浦市）の図書館の図書館カードが鎌倉市民でも作れること

	(名)
1. 知っていた	35
2. 知らなかった	85



●質問9-2● 県立図書館や県内図書館から鎌倉市の図書館に資料の取り寄せができる

	(名)
1. 知っていた	45
2. 知らなかった	75



《図書館から》

市域を超えて、県立図書館や他の市町村図書館、国立国会図書館ともネットワークでつながっています。身近な図書館で専門書や様々な資料と出会えます。ぜひご活用ください。このサービスをより広く知っていただけるよう、ホームページや利用案内で周知するようにいたします。

●質問10● 図書館についてのご意見を自由にお書きください。（自由記入）

・	上記以外は特にありません。
・	徒歩圏内に深沢センターあり頻繁に利用しているが、通常の書店にはない古い書物あり満足している。市財政難は認識しているが、今後も存続を強く期待している。
・	図書館ホームページから、主要文学書（文学全集等）の内容が講読できるようになったら素晴らしい。
・	電子書籍の貸し出しをやってほしいです。これならば蔵書数は非常に多くできると思います。一定期間毎に、みんなに読んでもらいたい本を市民から提供してもらうような場所を作ったら面白いと思います。特定の本棚に誰々からのお勧め本という感じで、例えば紹介文とともに、貸し出してもらえると興味がわきます。あるいは、みんなが書いた感想文や書評をどこかで閲覧できると、どの本を読むかを考える機会になって面白いと思います。
・	インターネット時代らしい図書館運営があるのではないか。
・	ネット検索で大部分は図書館に行く必要性が少ない。したがって図書館も独自性を持つ必要があるのでは。例：鎌倉関係諸資料は、鎌倉の図書館に行かないと見ることが出来ない等
・	電子書籍が普及しつつあり、これを利用できる方法を考えられないでしょうか？
・	殆どのことはインターネットで調べられるので利用する機会が少ない
・	3年前に脳梗塞を患い、左半身が不自由になってから、図書館には歩いて行けなくなった。ホームページでのサービスその他の機能を、より充実させて欲しい。
・	毎週一日が休みでも構わないが、その代わりに21時まで開館して欲しい。ブックポストを三階堂方面に作って欲しい。駐車場が少ないこともあり、主に逗子図書館を利用しています。逗子にない時で要が足りない時のみ鎌倉の図書館を利用しています。
・	本を増やして欲しい。
・	ベストセラーを入れるよりも、資料価値の高い図録や書籍の充実を希望します。
・	1年後には陳腐化するようなベストセラー本を各館で購入する一方、政治・経済・社会・思想等に関する分野には極めて冷淡であるのは問題。まるで古本屋の観を呈しているではないか、と言っても過言ではない。市民のニーズが多いからと言って、図書選択に偏りがあるのは、図書館としての見識を欠くと言わざるを得ない。5千円もすると、すぐに他館からの取り寄せにしようが、他館からは笑われているであろう。
・	今の自宅からは、図書館が遠いので利用しづらいです。深沢は近いですが、本数が少ないです。期待して、どこまで応えてくれるところなのかわからないので、本屋さんに行ってしまう。
・	神奈川県立等の本も借りられるので、十分利用価値のある施設であると考え。ただ、「鎌倉」関連の資料が、もっと充実すればよいと思う。なお、既得権的な利用を許す自習席は要らない。閲覧席は立ち席で構わないと思う。北鎌倉駅にも返却ポストが欲しい。
・	旅行ガイド、パソコンガイドなど、ハウトゥ物はなるべく、最新の物を定期的に入れて欲しい。
・	配置が分かりにくく、その場で探す際に時間がかかる。冊数も少ない。
・	図書館は調べ物をしたいときに利用していましたが、最近はインターネットで何でも調べられるので利用する機会が減ってきました。今後の図書館に求めたいのは旅行や趣味、娯楽などの本の充実。と同時にDVDやブルーレイなどの視聴覚媒体が増えることです。期待していますのでよろしくお願い致します。
・	雑誌、週刊誌に犯罪的な行為が多いのは大変残念だ。鎌倉市民の民度が疑われるし、行く度に嫌な気持ちにさせられる。雑誌棚の配置を係員の目の前に換えたらどうだろう。
・	もっと座り心地のよい椅子を希望します。
・	玉縄図書館の検索端末は1台しかキーボードが設置されていない。中央図書館のように、全部にキーボードを設置して欲しい。
・	多数のお年寄りが閲覧席で眠っているため、勉強しなくてはならない中高生が利用できない状況を危惧します。学生専用のエリアがほしいところです。
・	調度品が古い。パソコンが使えるデスクが少ない。トイレが汚い。飲食スペースが狭い。開館時間は毎日19時にして欲しい（休みは増やさず）。自習室のおしゃべりを注意して欲しい。自習室が狭い。職員の方の対応はいいと思います。
・	鎌倉市内の図書館は全体的に古く、閲覧環境もあまり良くない。予算の関係もあるでしょうが、机や椅子の更新、書架の配置の工夫などの検討をしていただきたい。
・	閲覧室の椅子で寝ている人がおり、自分の座る椅子がなかった事があります。食事、飲み物、談話がができる部屋があれば便利かなと思いますが、いかがでしょうか。
・	返却ボックスをさらにJRや江ノ電の駅にも設置してほしい。
・	図書館はできれば奥まった場所ではなく、駅前や駅に近い場所にあってほしい。
・	図書館は好きですが、鎌倉の場合、施設として古いため、まずトイレが使えない、ゆったり雑誌や新聞を読むような椅子やソファの設備が古いことなどが残念です。私は本を借りるという目的もありますが、静かにゆっくり雑誌や本を読みたいという目的でも図書館に行きますので、少しずつでも快適な環境になっていくとよいと思います。
・	小さな子ども連れの方がよく利用されていますが、子どもさんが無邪気に声を出して走り回っていることがあります。子ども連れをどうこう言うつもりはありませんが、端的に言えばうるさいので、何かいい方策がないものでしょうか。また、机の椅子に座り顔を伏せて寝ている人を時々見かけることがあります。ほかに使用したい方がおいての場合に大変困ると思います。注意書きを出すなど、こうした事態をなくすようお願いしたいものです。
・	もう少しキレイに、広くしてください。狭く、古く、くつろげない。駐車場が少ししかない図書館は鎌倉くらい。他の県をもっと見習ってほしい。
・	藤沢の図書館にある図書の取り寄せをできるようにしてほしい。
・	横浜市のカードも作れるようにしてほしい。近隣大学の図書館に行って自由利用できるようにしてほしい。自由利用というのは閲覧だけでも結構。借りられたらなお良し。他市から借りた本に別途のバーコードをつけるのは、やめてほしいです。子ども用の本の場合、バーコードを紛失することが多々あります。今は、子ども用のだけ図書館で預かってもらってます。なくても管理出来そうなら、つけない方がありがたいです。
・	産学官の観点から、企業や大学との相互乗り入れを希望する特に、近隣にある蔵書数の豊富な大学図書館が望ましい。
・	近隣の図書館だけでなく、他の地域の図書館や大学図書館との連携を密にして利用できるようにしてほしい。

図書館職員の対応いつもきちりとして立派に仕事しているので流石と思います。
20年位前は玉縄で勉強していましたが、現在は大佛次郎を借りています。玉縄図書館の受付の女性は、穏やかで、静かで、丁寧でとても感じの良い方です。昔は毎週月曜が休館だったのに、今は月1回なのですね。サービスが向上したと思います。
図書予約制度を充実すること。図書閲覧予約の時間が長い。短縮化を検討願う。
現在2週間の貸出期間を本のページ数などによって期間設定をフレキシブルにできませんでしょうか。理由はある程度頑張って読んでも読み切れないことが多少ならずあります。再貸し出しを受けるには相当期間の待ち時間が長く、再貸し出しが難しいので。
市外からの取り寄せや新規購入に時間がかかるようです。いつもお骨折りいただき、大変感謝しておりますが、もう少し、納期時間の短縮をお願い致します。Kindle本の購入をぜひ検討ください。
小さい頃から大好きでよく利用しています。小学生時代に自由研究のテーマにしたほど、図書館の空間が大好きです。中央図書館の蔵書の揃えには少し不満もありますが、市内の図書館からも取り寄せてもらえることができるのでありがたく、近くに充実している逗子の図書館や横浜市立図書館があるので、うまく使い分けて利用しています。よく利用するのは中央図書館なのですが、数年前に貸し出し冊数が減ってしまったこと、貸し出し期間が短くなってしまったことが少し残念です。前のように戻すことはできないのでしょうか？ご検討いただけましたら幸いです。
図書館は私にとって心のオアシスであり、在職中は資料作成、退職後は興味のある本の閲覧に利用させてもらい、大変感謝しております。まだ中途半端に仕事に携わっているため1／月程度の利用ですが、完全にリタイヤしたら毎日行こうと考えていますので、高齢化比率の高い鎌倉市の主要なサービスとして是非今後も充実させて下さい。
図書館は私にとって最も大切な地域の施設です。図書館のない生活は考えられません。スペースの制約で個人蔵書には制約があるので、ますます図書館の存在が大きいです。不要な本の引き取りなどがもっと行えるといいと思います。
自宅の本を寄贈したいときはどうすればいいのですか？ハードカバー、文庫、コミックなど、図書館側の要望があれば、それを聞きたい。
使用頻度の低い高価な専門書を見たくて利用したことが何度あります。現在は、「インターネットで検索」で事足りることが多いです。本も電子書籍が普及してきています。でも、タブレットで子供に絵本を読み聞かせるのも時代の流れかと思いますが、アナログの良さを考えたいです。
特記事項ありませんが、利用歴が無いので、近々伺ってみようと思います。
トイレに入って手を洗わずに出る人がある(特に高齢者)。身なりが汚い人がたまにいる。
元来、あまり本を読まないの、適正な回答ができず、申し訳ございませんでした。
以前“図書館が赤字”との報道を見た事がある(どんな計算で赤字と言うのかわからないが)。 鎌倉市はどの様に図書館を運営していくのでしょうか？
今回のアンケートの趣旨が理解できません。将来に渡って鎌倉市のグランドデザインをする上で中心となる指針が決まっていなくて、枝葉の図書館の意見を聞いて意味があるとは思えません。場当たりの対応になるようなら、経費の無駄なので「アピール」的なことはおやめになられたら如何ですか？本企画の決裁権は経営企画部長にあると思われますが、明確な説明ができますか？出来るというなら役所まで参上しますのでご説明いただきたい。
来館者の立場に立ってサービスを見直すこと。例えば、開館時間の延長、飲食のサービス等。
売っている本を大量に入荷するのは公立図書館としては民業圧迫・税金の無駄だと思う。新刊の小説等は持ったの。外。リクエストの多い本を仕入れて貸すといった本代を節約したい層へ税金を使ってサービスするのではなく、教育に関する福祉(親が帰ってくるまで子供が安全に勉強等する、貧困者・社会的弱者への特にITに関する学習支援)といった公でなければならない役割にシフトしてゆくべきと思う。その労働力のためにも相互援助・ボランティアの拠点として場を提供できればよいと思う。
開館時間の希望は21:00まで。決して武雄市図書館を礼賛するつもりはないが、人口減少時代の「新しい公共」施設の在り方として検討はすべきだと考える。その上で、地域の居場所として高齢者から幼児までが生活の一部として「利用したくなる」、「鎌倉ならではの」特徴を検討して欲しい。官民連携で。
市民の意見を取り入れてより良い図書館にしてほしい。また、今後は地元の商品を販売するなど、コミュニケーションスペースとしても活用されることが期待される。
図書館は、地域の文化・歴史のセンター的機能を有すべきで、充実してほしい。
一昔前に比べたら閉館時間がのびて閉館日が減ったので、使いやすく感じる。行政センターでイベント参加時に飲食不可だったので飲食可能な場所がほしい。 市内の公立小中学校の図書室との連携をしてほしい。 小学校で市民が貸し借りできたら図書館は要らないかも。小学校なら近くでありがたい。図書で一番大変なのは、配架。小学校に生徒の図書係がいるのだから人手が増えて小学校で図書館を併設するには一石二鳥なのでは？
図書館を利用する習慣がない。原因は自分が必要とする情報が得られないため。しかし、それは職業の種類のせいであって、市民図書館としてどうあるべきかとはことなる。なお、このアンケートにより図書館業務を外委託する方が市民の声を実現できるというような結論にしないでほしい。運営については市民団体の活用も考えられる。
読みたい、調べたいことがわかるように、子ども達同様、大人向けの図書館利用案内オリエンテーションがあるといいです。
1)私が子どもの頃と違い、放課後、学校に残って遊べなくなった。家でゲームをさせる世の中はおかしく、せめて子どもが友だちと一緒に図書館で宿題ができる社会を推進して欲しい。ファストフードで勉強させるより、図書館のほうが健全で、社会がそれをサポートすべき。それを可能にするため、支所内にある図書館は、支所内で空いている部屋を臨時の閲覧・自習室として開放したらよい。 2)公共施設の維持コストの観点からは、教育機関の図書室との共用を真剣に検討願いたい。例えば米シリコンバレーのサンノゼ市に例がある(https://www.sjlibrary.org/)。深沢図書館の児童書コーナーと深沢小学校図書室とを一体化するイメージ。今はIDカードを使ったセキュリティゲートの技術も発達しており、工夫の余地は大きい。放課後・休日には空き教室等を閲覧・自習室に供することもできそう。
図書館、特に自治体が運営する公共図書館の存在意義は2つあると考えます。一つは、地域の街づくりを支える「知的拠点」であること。もう一つは、障害者、子どもたち、高齢者、長期入院患者など、いわゆる社会的弱者の「知的セーフティネット」であることです。大学には大学図書館があります。(学生や卒業生の利用に限られますが)企業には企業図書館があります。(大企業ではありますが)会費を払えば、居心地のよい家具に囲まれ、美しいBGMが流れる環境で、司書に相談しつつ、お茶をいただきながら質的な図書館を利用することもできます。(六本木の私立図書館など)しかし、だれもがそのような図書館を利用できるわけではありません。だからこそ、自治体が運営する図書館は法によって「無料の原則」が謳われているのだと思います。誰もが、いつでも、知りたいこと、学びたいことを生涯にわたって手にすることができるように。「知る権利」「学ぶ権利」を保障することは自治体が運営する公共図書館の大切な役割であり、その運営が最も費用対効果よく行われるために、司書職員の存在が重要だと思います。そして、生涯にわたって学び続けていくことが、先の見えにくいこれからの社会を生きていく力となり、そういう一人ひとりの市民の自立こそ、第3次総合計画の柱の一つである市民協働を推進する大きなサポートとなるのではないのでしょうか？さらに、3.11を経て痛感するのは、公文書や郷土資料等、一度失われたら二度と手にすることのできないその土地ならではの歴史文化資料の整理・保存の重要性です。そして、地震等災害に見舞われたときに若者男女が日常的に利用している(利用していなくても利用できると認識されている)図書館が、市民の情報収集、癒しの場になりうる有効な場所だということも改めて発見されたことでした。実際、東日本大震災の折には、直後から段ボール詰めの本サービスや子ども向けお話し会など、避難所での図書館活動が始まりましたし、公文書や郷土資料の洗浄など、資料の復元・保存活動が文化庁等の支援を受けて現在も続いているところです。 昨今、さまざまな形態の公共図書館が散見されますが、以上に述べた2つの図書館の存在意義を逸脱しないよう、公共ならではの継続した定量、定性的サービスが失われないよう、基本的な理念にくれぐれも留意して街づくりの要となるような図書館づくりをしてくださるようお願いします。古今東西、古代より現在まで、書物を粗末にした時代に文化的発展はありませんでした。微力ですが、市民の一人として、職員の皆さんと共同しながら、鎌倉らしい図書館づくりに尽力していきたいと願っております。 まずは、先だってパブリックコメントを提出し策定された「鎌倉市図書館第2次サービス計画」の実施のために、市民の責任をもって協力していきたいと思っています。



《図書館から》

・資料のデジタル化について

平成22年に電子図書館実証実験を行い、電子書籍の使い勝手や、電子化が求められる資料の調査をしました。鎌倉ならではの地域資料、絵図、写真など他にはない資料を優先してデジタル化と公開に取り組んでいきます。

・図書の郵送について

図書宅配サービスを行っています。返却の際にも利用できます。1回360円です(市内)。

・予約について

予約の方の待ち期間がたいへん長くなってしまうため、予約のある期間は2週間貸出でお願いしています。予約のない資料については借り直しや延長ができますので、ご理解ください。

3週間貸出していた期間がありましたが、予約の本が早く用意できないこと、本の種類により貸出期間が異なり、延滞がたいへん多くなってしまったことから、2週間になりました。予約がなければ、借り直しは何回でもできます。電話やインターネットでも2週間は延長できますのでご活用ください。

・本の寄贈について

寄贈いただいた本は活用させていただきますので、開館時間にお持ちください。すでに所蔵している等の理由により、図書館で使用しない場合は図書リサイクルコーナーで市民に無料配布しています。やはり、新刊書がよく利用されるので助かります。文庫本でも結構です。

・今後の図書館のあり方について

図書館の役割は市民の知る自由を保障することだと考えます。資料の充実と提供を第一に、その実現に最も効果的な運営を行います。



《図書館から》

図書館は、市民とともに歩む図書館を目指しています。

今後も、皆様からいただきましたご意見等を参考にして、生涯学習の拠点となり、鎌倉ならではの図書館を創っていきたいと思います。この度は、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

【お問い合わせ先】

鎌倉市 経営企画部 秘書広報課 広報広聴担当

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

TEL 0467 (23) 3000 内線2505

FAX 0467 (23) 6505

e-mail : emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp